

祝 辞

本日この佳き日、宮崎国際大学秋季入学式を迎えました。

学校法人宮崎学園を代表しまして、お祝いを述べさせていただきます。

新入生の皆様、ご入学おめでとうございます。ようこそ日本へいらっしゃいました。

また、母国におられますご家族の皆様にもお祝いを申し上げます。宮崎学園のすべての関係者とともに、皆様を宮崎国際大学にお迎えすることを重ねて心からお慶び申し上げます。

学校法人宮崎学園は、昭和十四年、大坪資秀初代理事長によって創設されました。昭和、平成、令和へと三時代にわたり多様な変化進展を経て、八十三年の歴史を刻んでいます。

本学は、平成六年、大坪久泰第二代理事長によって創設されました。グローバル社会で活躍する人材育成をめざし、英語によるリベラル・アーツ教育という、極めて先進的な教育に取組みました。

本学園の建学の精神は、「礼節・勤労」です。建学の精神「礼節・勤労」の大きな願いは、地球が平和で、すべての人がお互いを尊重しあう社会が築かれていくことです。学生の皆さんに願うことは、皆様方の人間としての成長です。

「礼節」の精神では、礼節を重んじ、自他の人間性を尊重し、自らを律し、他者の立場に立って物事を考えることをめざします。具体的には、今なすべきこと、他者から求められていることが何であるかを想像し、自ら考え行動する力をつけることをめざします。

さらに「勤労」の精神では、心身を労して全てのことに積極的に努力することをめざします。これらは、日々の生活において真摯な態度で生きることが求められるものであります。四年間を通して、自らのキャリアを生涯に亘って高め続け、そのキャリアを社会に貢献していけるようになることをめざします。

このような人としての成長をめざしながら皆さまは学問を学びます。皆様が卒業後活躍する時代は、変化が著しく、予測困難な時代になると言われています。我々は、この一年、コロナ禍や地震による災害、加えてロシアのウクライナ侵攻等、厳しい日常を目にするものになりました。このような時代であるからこそ、母国を離れ、本学での学びの機会を持つことができた皆さまは、この学びを母国の発展へ貢献するために今から知識や体験を広げなければなりません。この四年間、物事の

本質を問う学びを積んで欲しいと願っています。自ら良く考え、物事に正面から向き合っていてください。

「見たことのない景色を見て、見たことのない自分に出会う」。日本での学びがいよいよスタートです。

私たち宮崎学園は、全力で皆さまの新たな学びを支援します。

皆さまの大学生活が、実り多きものとなります。心から願ひまして、理事長祝辞といたします。

令和四年十月三日

学校法人宮崎学園理事長 山下恵子